

【学校教育専攻】 2022 採用試験 合格者インタビュー ①

1 教員を目指した理由は？

私が教員を目指したのは、子どもが好きで、教えることも好きだからということがきっかけでした。小学校に教育実習に行ったときには、子どもの素直さや一生懸命さに触れて、「やっぱり先生になりたい！」と思いました。

小学校の教員になったら、子どもが夢や目標をもち、それに向かって全力で取り組めるようにサポートしたいと思います。

自分の特技であるソフトボールを通じて、子どもを育ていきたいです。

2 大阪大谷はどうだった？

高校の先輩から話を聞き、ソフトボールに取り組みながら教員を目指すことができると思って入学しました。実際に、入学してからは、ソフトボールに打ち込める環境が整っていて、4年間、充実した活動ができました。副キャプテンとして、コロナ禍でも、できる練習を工夫しながら頑張ったことが心に残っています。

大学の講義では、教材研究や授業づくりを学びました。実際に教員になったときにすぐに活用できる内容も多かったです。



高江 沙歩さん
(小学校教諭コース)
北九州市
小学校 合格！

3 採用試験はどうだった？

3回生の後期からは、北九州市を第1志望にして、採用試験の傾向を調べたり過去問に取り組んだりして勉強を進めました。部活が始まる前や帰ってからも少しずつ取り組みました。北九州市では、面接で英語でのやりとりがあることを知り、英語担当の先生に何度も見ていただきました。

また、教職センターの面接対策講座を受講し、何度も練習していくうちに、自信をもって発言できるようになり、当日も落ち着いて伝えることができたと思います。

4 教員を目指す高校生にメッセージ

自分のやりたいことを続けることが、目標に向かって取り組む原動力になりました。大学生活で部活と勉強を両立させて頑張ることができ、自信につながりました。

子どもたちにとっても、得意なことやいろいろな経験がある先生の方が魅力があると思うので、自分のやりたいことを最後までやり切ることが大切だと思います。

